

福井農試第287号
平成19年8月31日

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長
(公印省略)

農作物病虫害発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので、送付します。

連絡先	福井県農業試験場 病虫害防除室
☎	0776-54-5100
FAX	0776-54-6403
E-mail	fukui_byougai@fklab.fukui.fukui.jp

平成19年農作物病虫害発生予察予報第7号

9月の気象概況

天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は平年並みまたは高い、降水量は平年並み、日照時間は平年並みと予想されます。

[水稲関係]

病虫害名 ツマグロヨコバイ

1 予報内容

発生時期：加害最盛期は8月下旬頃

被害程度：少発

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2 防除対策

(1) 早生刈り取り以降に中晩生で多くなる場合があるので注意する。

(2) 株あたり虫数が6頭以上の場合は薬剤を散布する。

[オオムギ関係]

病虫害名 裸黒穂病(種子消毒)

1 予報内容

発生量：平年、前年よりやや多い。

2 防除対策

(1) 種子伝染のみで発病し、感染後の治療薬剤がないため、種子を更新し種子消毒を励行する。また、消毒前に塩水選(比重1.13)により不良麦を除去する。比重終了後は塩水を落とすために水で十分に種子を洗い、むしろなどの上に広げて陰干しする。

(2) 薬剤消毒法 種子粉衣、浸漬処理の方法がある。

(3) 風呂湯浸法

湯の温度を42℃にし、10時間浸漬する。浸漬中は1時間当たり1.5℃程度温度を下げるようにする。種子は積み重ねず、浸漬直後とその後は時々攪拌する。

病害虫名 雲形病（種子消毒）

1 予報内容

発生量：平年、前年並み。

2 防除対策

- (1) 主に種子伝染するので、種子を更新し種子消毒を励行する。また、消毒前に塩水選(比重1.13)により不良麦を除去する。比重終了後は塩水を落とすために水で十分に種子を洗い、むしろなどの上に広げて陰干しする。
- (2) 薬剤消毒法 種子粉衣、浸漬処理の方法がある。
- (3) 風呂湯浸法
湯の温度を42℃にし、10時間浸漬する。浸漬中は時間当たり1.5℃程度温度を下げるようにする。種子は積み重ねず、浸漬直後とその後は時々攪拌する。
- (4) 種子が覆土されると発病が少なくなるので、条播を励行する。
- (5) 早播きすると発生が多くなるので、適期播種に努める。

[ダイズ関係]

病害虫名 ハスモンヨトウ

1 予報内容

発生時期：幼虫加害盛期は9月中旬頃

被害程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2 防除対策

- (1) 白変葉や分散前の若齢幼虫がみられたら、早く防除を行う。

病害虫名 カメムシ類

1 予報内容

発生時期：加害最盛期は9月中旬

被害程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2 防除対策

- (1) 圃場への侵入が多くなる子実肥大終期(9月中旬)以降に防除を行う。
- (2) 9月中旬の加害最盛期に、1圃場あたり100株ずつ3カ所の見とり調査を行い、カメムシ類が平均して100株当たり、4頭以上いる場合は防除を行う。
- (3) ホソヘリカメムシが優占種である場合は、加害能力が高いので注意する。
- (4) 薬剤は莢に充分付着するように散布する。

病害虫名 フタスジヒメハムシ

1 予報内容

発生時期：第3世代成虫発生最盛期は9月中旬頃

被害程度：少発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2 防除対策

- (1) 第2世代成虫の防除を行っていない圃場は、9月上旬までに防除を行う。
- (2) 薬剤は莢に充分付着するように散布する。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キャベツ ハクサイ	べと病	初発期： 10月上旬	少 発	平年：少 前年：並み	(1)排水をよくする。 (2)密植を避ける。 (3)肥料切れをさせない。 (4)被害葉を取り除く。 (5)葉の裏にもていねいに薬剤を散布する。
ハクサイ	白斑病	初発期： 10月上旬	少 発	平年：少 前年：並み	
ダイコン キャベツ ハクサイ	モザイク病	初発期： 9月上旬	少 発 (局中発)	平年： やや多 前年：並み	(1)アブラムシを防除する。 (2)発病株は早めに処分する。
	軟腐病	初発期： 9月下旬	少 発 (局中発)	平年： やや多 前年：多	(1)連作を避ける。 (2)早播きに発病が多い。 (3)排水をよくする。 (4)間引き作業を適期に行う。 (5)食痕性害虫を防除する。
ニンジン	黒葉枯病		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	(1)連作を避ける。 (2)肥料切れさせない。 (3)排水をよくする。
全般	アブラムシ類		少 発 (局多発)	平年： やや多 前年：並み	対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	ハダニ類		少 発 (局中発)	平年：並み 前年： やや多	対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	ヨトウムシ類 (ヨトウガ、シロシタヨトウなど)	幼虫発生初期： 9月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	
	ハスモンヨトウ		少 発 (局中発)	平年： やや少 前年： やや少	
アブラナ科 野菜	コナガ		少 発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	
	モンシロチョウ(アオムシ)		少 発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
	タマナギン ウワバ	加害盛期： 9月中旬	少 発	平年： やや多 前年： やや多	
	キスジノミ ハムシ	加害盛期： 9月中旬	少 発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	
	ダイコンサ ルハムシ	加害盛期： 9月中旬	少 発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	
	ハイマダラ ノメイガ	加害盛期： 9月下旬	少 発 (局中発)	平年： やや多 前年： やや多	
ナス ピーマン キュウリ サヤインゲ ン ハウレンソ ウ	ミナミキイ ロアザミウ マ		少 発 (局多発)	平年： やや多 前年： やや多	本虫は寄主範囲が広いので注意する。
トマト キュウリ	タバココナ ジラミ		少 発	平年： やや多 前年： やや多	
トマト ナス ピーマン	オオタバコ ガ		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	果実に食入するため若齢期に防除を徹底する。
トマト	ミカンキイ ロアザミウ マ		少 発 (局多発)	平年： やや多 前年： やや多	

[果樹関係]

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ナ シ	ハダニ類		少 発 (局中発)	平年： やや多 前年：並み	同一系統の薬剤の連用を避ける。
ウ メ	ウメシロカ イガラムシ 第3世代	幼虫ふ化盛 期：9月上 旬	中 発	平年： やや多 前年： やや多	幼虫発生を確認して薬剤散布する。
	モンクロシ ヤチホコ	加害盛期： 9月上旬	少 発	平年： 少ない 前年： 少ない	早期発見につとめ、若齢幼虫期に捕殺・薬剤散布する。

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
キク	白さび病		少 発	前年：並み	(1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 (2)下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする。 (3)同一系統薬剤の連用を避ける。
	アブラムシ類		少 発 (局中発)	前年： やや多	同一系統の薬剤を避ける。
	オオタバコガ		少 発	前年：並み	(1) 若齢幼虫期までに防除を徹底する。 (2) 同一系統の薬剤を避ける。
	ハダニ類		少 発 (局中発)	前年： やや多	同一系統の薬剤を避ける。